

平成27年度 学内推薦入試

- ◆ 以下に示すA、Bの2つの問題に答えなさい。別紙、解答用紙の表面に【課題A】、裏面に【課題B】を解答すること。

【課題A】

小学校学習指導要領総則に「安全に関する指導においては、身の回りの生活の安全、交通安全、防災に関する指導を重視し、安全に関する情報を正しく判断し、安全のための行動に結び付けるようにすることが重要である。」とある。また、小学校学習指導要領解説社会科編においても、「日ごろから防災に関する情報などに関心をもつなど、国民一人一人が防災意識を高めることが大切であることについても気付くように配慮することが大切である。」と記されている。さらに、小学校学習指導要領解説理科編においても、理科の学習において自然災害と関係付けながら学習することの重要性が指摘されている。

学校現場では「防災教育」という特定の教科があるのではなく、さまざまな教科や特別活動の中で、防災の狙いに沿った要素を入れた教育が進められている。一例であるが、地域の安全に役立てるための1つの知識として消防署や消防施設の役割などを社会科で、自然災害の発生メカニズムを理科で、安全な行動を身に付けさせるため、どういったときにけがをしやすいのか、どんなことに気を付けたらいいかなどを体育や特別活動・安全指導の時間などで学習させている。

あなたが、小学校教師になったときに防災教育として取り組んでみたい題材（教科や学年、テーマなど）を示し、その題材を選んだ理由、指導の概要を記述しなさい。

【課題B】

次の表は、2013年度全国学力・学習状況調査における質問紙調査の結果と教科に関する調査の結果のクロス集計等の一部であり、児童の生活習慣等と教科の平均正答率の関係を示したものである。表の中からあなたが注目する質問項目を3つ選び、それぞれについて選んだ理由とその指導方針を述べなさい。

〔表 1-5-1〕 教科の平均正答率と関係が見られた児童の状況

質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
朝食を毎日食べていますか	①している	64.1	50.9	78.4	59.9
	②どちらかといえば、している	55.5	41.4	70.5	50.2
	③あまりしていない	50.3	35.4	65.1	44.1
	④全くしていない	47.2	31.4	61.2	39.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	①している	64.8	51.6	79.0	60.7
	②どちらかといえば、している	64.0	51.4	78.5	60.3
	③あまりしていない	58.6	44.2	73.3	53.3
	④全くしていない	51.8	34.8	66.1	44.1
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	①している	64.2	51.1	78.4	60.0
	②どちらかといえば、している	62.9	50.0	77.5	59.0
	③あまりしていない	56.2	41.1	71.1	50.2
	④全くしていない	48.2	30.2	62.2	39.5
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをずる時間は除く)	①4時間以上	58.1	44.4	73.0	53.4
	②3時間以上、4時間より少ない	61.6	49.0	76.6	57.8
	③2時間以上、3時間より少ない	63.5	50.6	78.2	59.7
	④1時間以上、2時間より少ない	65.1	51.8	79.2	60.8
	⑤1時間より少ない	66.9	53.0	79.9	61.9
	⑥全く見たり、聞いたりしない	64.2	48.9	76.1	57.6
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲームも含む)をしますか	①4時間以上	52.9	36.6	67.8	46.2
	②3時間以上、4時間より少ない	56.5	41.9	71.8	51.0
	③2時間以上、3時間より少ない	59.6	45.6	74.9	54.9
	④1時間以上、2時間より少ない	63.2	50.0	78.1	59.3
	⑤1時間より少ない	65.7	53.5	79.9	62.3
	⑥全くしない	67.2	54.5	80.0	62.7
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネット(携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む)をしますか	①4時間以上	-	-	68.0	-
	②3時間以上、4時間より少ない	-	-	70.0	-
	③2時間以上、3時間より少ない	-	-	73.0	-
	④1時間以上、2時間より少ない	-	-	76.4	-
	⑤1時間より少ない	-	-	79.5	-
	⑥全くしない	-	-	77.4	-
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	①当てはまる	65.1	52.2	79.1	61.1
	②どちらかといえば、当てはまる	59.0	45.2	74.6	54.5
	③どちらかといえば、当てはまらない	52.0	35.9	67.5	45.4
	④当てはまらない	48.8	29.9	62.2	39.1
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	①当てはまる	-	-	78.2	-
	②どちらかといえば、当てはまる	-	-	78.5	-
	③どちらかといえば、当てはまらない	-	-	75.1	-
	④当てはまらない	-	-	66.2	-
自分には、よいところがあると思いますか	①当てはまる	64.7	51.4	78.8	60.5
	②どちらかといえば、当てはまる	63.5	51.0	78.1	59.8
	③どちらかといえば、当てはまらない	60.1	46.4	74.9	55.4
	④当てはまらない	57.4	41.1	71.1	50.1
人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	①当てはまる	64.5	51.9	78.5	60.3
	②どちらかといえば、当てはまる	60.6	46.4	76.1	56.4
	③どちらかといえば、当てはまらない	56.0	39.6	71.5	50.0
	④当てはまらない	52.8	34.2	67.1	44.9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	①当てはまる	-	50.7	-	-
	②どちらかといえば、当てはまる	-	46.9	-	-
	③どちらかといえば、当てはまらない	-	39.7	-	-
	④当てはまらない	-	35.0	-	-
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	①当てはまる	64.2	51.3	78.3	60.0
	②どちらかといえば、当てはまる	61.2	47.4	76.3	57.0
	③どちらかといえば、当てはまらない	56.4	40.4	71.6	50.4
	④当てはまらない	52.1	33.5	66.2	43.7
学校のきまりを守っていますか	①当てはまる	64.4	51.8	-	-
	②どちらかといえば、当てはまる	63.0	49.7	-	-
	③どちらかといえば、当てはまらない	56.7	40.5	-	-
	④当てはまらない	50.8	31.8	-	-
友達との約束を守っていますか	①当てはまる	64.2	51.4	78.4	60.0
	②どちらかといえば、当てはまる	61.4	47.5	76.2	56.9
	③どちらかといえば、当てはまらない	52.7	35.6	66.9	45.0
	④当てはまらない	51.0	31.8	63.6	41.0
家の人と学校での出来事について話をしますか	①している	65.3	53.2	78.9	61.0
	②どちらかといえば、している	62.5	49.2	77.4	58.7
	③あまりしていない	60.1	45.2	75.7	55.9
	④全くしていない	53.7	35.9	69.3	46.9
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	①当てはまる	64.8	51.7	78.7	60.6
	②どちらかといえば、当てはまる	62.1	49.1	77.0	58.3
	③どちらかといえば、当てはまらない	59.6	45.8	75.1	55.2
	④当てはまらない	53.5	37.2	68.7	46.7

※平均正答率が記載されている部分において、当該質問事項と関係が見られた

平成27年度 A日程入試

- ◆ 以下に示すA、Bの2つの問題に答えなさい。別紙、解答用紙の表面に【課題A】、裏面に【課題B】を解答すること。

【課題A】

「理科離れ」とは、「理科に対して児童生徒の興味・関心が低くなったり、授業における理解力が低下したり、日常生活において重要と思われる基礎的な科学的知識を持たない人々が増えたりすると言われる事象や議論のことである」とここでは考える。

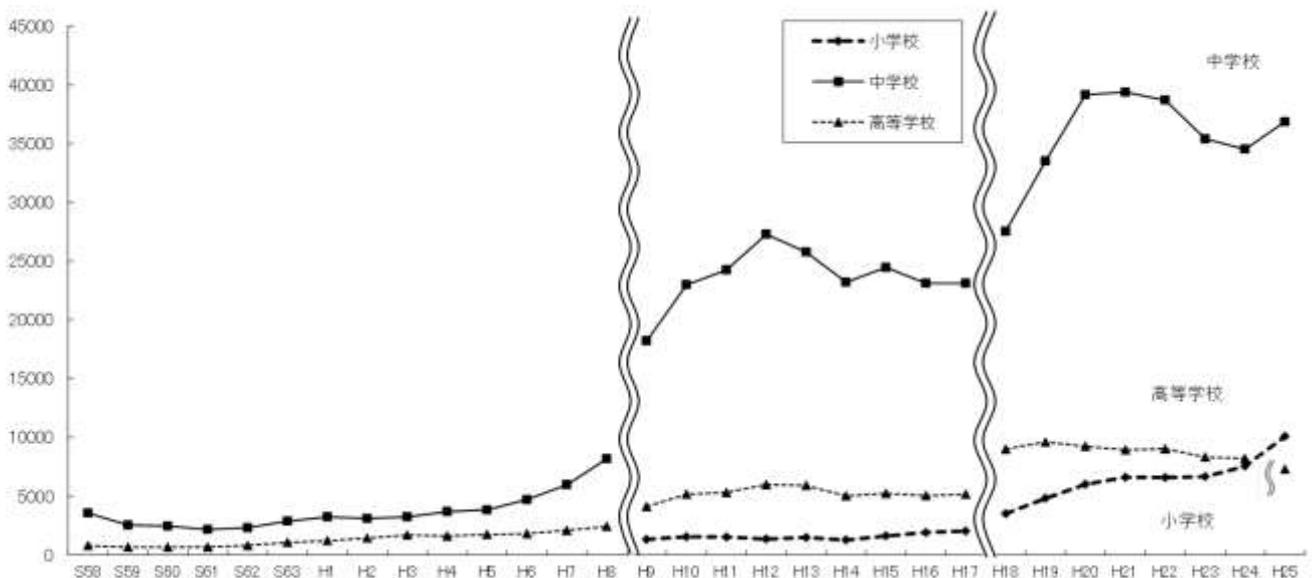
- ①あなたの身の回りで生じた「理科離れ」の事例（事実）を書きなさい。
- ②「理科離れ」を防ぐために「国語」ではどのような指導が有効だと考えるか。①を根拠に述べなさい。

【課題B】

2014年10月に文部科学省が発表した統計グラフを見ると、近年、全国の小学校の「学校内における暴力行為」の発生件数が増加していることがわかる。

- ①近年、小学生の暴力行為が増加している背景と理由を答えなさい。
- ②児童・生徒の暴力行為を減少させるために、教師はどのような取り組みをすることが必要か。あなたの考えを述べなさい。

<参考3>学校内における暴力行為発生件数の推移



文部科学省：「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より

平成27年度 B日程入試

- ◆ 以下に示すA, Bの二つの課題に答えなさい。別紙、解答用紙の表面に【課題A】、裏面に【課題B】を論述すること。

【課題A】

生徒指導は、一人一人の児童生徒の個性の伸長を図りながら、同時に社会的な資質や能力・態度を育成し、さらに将来において社会的に自己実現ができるような資質・態度を形成していくための指導・援助であり、個々の児童生徒の自己指導能力の育成を目指すものです。そのために、日々の教育活動においては、①児童生徒に自己存在感を与えること、②共感的な人間関係を育成すること、③自己決定の場を与え自己の可能性の開発を援助することの3点に特に留意することが求められています。〈 文部科学省、『生徒指導提要』(2010年)「第1章 生徒指導の意義と原理」より 〉

上の文章における指導・援助の3つの留意点のうち、自分が学級経営をする際にもっとも重視しようとするものを1つ選び、その理由とともに具体的な指導・援助について説明しなさい。

【課題B】

教科等の指導を行う際、よく「教科書を教える」のではなく、「教科書で教える」と言われます。教員を対象に、教科書に対する意識調査を行ったところ、「これからの教科書のあり方について」という質問に対して、以下のような意見があったようです。これらの意見を参考にし、「『教科書を教える』のではなく、『教科書で教える』」という考えに対する、あなたの率直な見解を述べなさい。(中央教育研究所『教師と児童・生徒の教科書の使い方および教科書観に関する調査』より)

- A教師：教科書はどうしても幅の広いものを教師サイドは要求するが、もっとシンプルなものの方がよいように思う。(中学校、男性)
- B教師：教科書は考えたり、話し合ったりするきっかけになるもの、子どもたちの考える力、活用力を育むものであってほしい。(小学校、女性)
- C教師：もっとたくさんの方が学べるような、百科事典的な内容を網羅してもよいのではないか。(小学校、男性)
- D教師：基本的には「この1冊があれば他はいらない…」というような、内容のつまった教科書が良いと思っています。「この教科書はすてられない」「役に立つ」という一生ものの教科書であってほしいと思います。(中学校、男性)
- E教師：1つの教科書を教え込むのではなく、複数の資料の中の一つと位置づけられるものだと思う。(中学校、男性)
- F教師：生徒の学力差が著しい中で指導している。学力に応じた指導のできるような教科書にしていくべきだと思う。教科書の内容をすべて教えなくてはならないのではなく、必修の部分、応用的な部分と段階を設けて、取り組み易く、やる気のおきる内容にして欲しい。(中学校、女性、一部改変)